

令和7年度 児童アンケート

1 結果

(1) 肯定的な回答「思う」「少し思う」が高い項目

番号	項目	肯定的(%)	
		思う	少し思う
17	朝ごはんを食べて登校している	92	0
13	休み時間は運動場や体育館で元気で遊んでいる	83	8
18	新野町（阿南市）というまちがすきだ	83	8

(2) 肯定的な回答「思う」「少し思う」が低い項目

2	自分から進んで勉強している	25	67
16	早寝・早起きができている	25	67

(3) 昨年度との比較で上がった項目 「思う」の回答が12%以上、増加

番号	項目	比較(%)
4	タブレットを使うことで、授業が分かりやすくなった	46 → 67 +21
18	新野町（阿南市）というまちがすきだ	69 → 83 +14
8	学校で、だれとでも仲よく助け合って生活している	38 → 50 +12
10	なやんだり、困ったりした時は先生や家の人に相談している	38 → 68 +30

(4) 昨年度との比較で下がった項目 「思う」の回答が12%以上、減少

2	自分から進んで勉強している	46 → 25 -21
14	めあてをもって体力づくりに取り組んでいる	77 → 58 -19
16	早寝・早起きができている	38 → 25 -13

2 成果

(1) わかる授業のためのICTの効果的な活用

項目4は、必要な資質・能力を育成するために、タブレット端末を使って、児童がデジタル教科書で動画を視聴したり、プレゼンを作成して説明したりできた。また、個別の進度に応じて復習するなど、効果的に活用した成果と考えられる。

(2) 新野町（阿南市）が好き

項目18は、新野町（阿南市）のことを好きだと回答した児童が増えたのは、伝統文化である人形浄瑠璃を体験したり、総合的な学習の時間で新野町のことを調べたりすることにより、新野町のよさに気付いたり、歴史・文化を知ることができた取組によるものと考えられる。

(3) 自己肯定感の向上と信頼関係

項目8・10は関連して、キラキラメッセージでポジティブ行動支援を行い、給食の時間に児童が委員会で放送を継続できていると考えられる。全職員で児童理解や情報共有することで、児童は落ち着いた生活ができていることがうかがえる。

3 改善策

(1) 進んで勉強する

自主学習の楽しさを味わう経験ができるよう工夫することにより、児童がもつ本来の興味・関心を引き出し、進んで取り組めるようにしていきたい。学級ごとにテーマやめあてを決めるなど自主学習の内容を工夫したり、参考になるものを提示したりして啓発を継続していく。さらに、4月に配布する家庭学習の手引きが活用できるよう確認していきたい。

(2) めあてをもって体力に取り組む

1年間を通して、めあてと振り返りができる1枚のワークシートを工夫し、児童自身ができるようになったことを実感できるようにしていきたい。

(3) 早寝・早起き（基本的な生活習慣）

早寝・早起き・朝ご飯については、学校と家庭との連携が必要であり、健康な生活の基本は運動、睡眠、食事バランスと考えられる。学校生活の様子を保護者に伝えるとともに、学級活動では時間の使い方や食育の指導を継続していく。児童がゲームの影響に気付くようにしたり、家庭に協力いただいてノーメディアデーに取り組んだりすることも効果的だと考えられる。